

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号

0068

平成31年度行政事業レビューシート(法務省)

事業名	国際連合薬物犯罪事務所（UNODC）拠出金及び国際連合開発計画（UNDP）拠出金		担当部局	大臣官房国際課		作成責任者					
事業開始年度	平成28年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし	担当課室	-		国際課長 柴田 紀子				
会計区分	一般会計										
根拠法令（具体的な条項も記載）	法務省設置法第4条第1項第36号		関係する 計画、通知等	国連総会決議（第46回（46/152（1991年））、第52回（52/220（1997年））、第58回（58/140（2003年）））、「犯罪に強い社会の実現のための行動計画2008」、「日本と国連薬物・犯罪事務所の戦略的協力－共同行動計画－」（2015年6月9日改定）							
主要政策・施策	ODA		主要経費	その他の事項経費							
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	国際組織犯罪への包括的な取組を目的とする国連薬物・犯罪事務所（UNODC）に対する拠出を通じて、アジア・太平洋地域を中心とする国々との国際犯罪への対策強化等を図るとともに、2020年に日本で開催する国連犯罪防止刑事司法会議（コングレス）に向けて、事務局であるUNODC事務局との綿密な連絡・調整、協議等の計画的な準備の推進に寄与することを目的とする。										
事業概要（5行程度以内。別添可）	UNODCが管理する「犯罪防止刑事司法基金」への拠出により、東南アジア諸国の刑事司法分野における法整備支援プロジェクト等を行う専門家を雇用する。UNODCへの拠出により、UNODC事務局内にポストを設置し、事務局内部の動向に関する情報の入手など、事務局と日本政府との連絡・調整を行うとともに、必要な準備会合を実施する。										
実施方法	その他										
予算額・執行額 (単位:百万円)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求					
	当初予算	30	104	85	109	168					
	補正予算	-	▲9	▲1	-						
	前年度から繰越し	-	-	-	-	-					
	翌年度へ繰越し	-	-	-	-						
	予備費等	-	-	-	-						
	計	30	95	84	109	168					
	執行額	30	95	84							
	執行率（%）	100%	100%	100%							
当初予算+補正予算に対する執行額の割合（%）	100%	100%	100%								
平成31-32年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由							
	政府開発援助国際連合薬物犯罪事務所拠出金	107	128	国際連合薬物犯罪事務所（UNODC）に対する拠出金の増							
	国際連合開発計画拠出金	2	40								
	計	109	168								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 31年度	目標最終年度 32年度		
	東南アジア地域における刑事司法分野の発展と相互協力の促進等への貢献のため、研修・ワークショップの実施回数を19回以上とする。	研修・ワークショップの実施回数	成果実績	回	19	17	18	-	-		
	目標値		回	19	19	19	19	-			
	達成度		%	100	89	95	-	-			
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	国際課調べ										
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 -年度	目標最終年度 32年度		
	コングレスの参加者人数を4,000人以上とする。	参加人数	成果実績	人数	-	-	-	-	-		
	目標値		人数	-	-	-	-	4,000			
	達成度		%	-	-	-	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	第13回国際連合犯罪防止刑事司法会議（カタール・ドーハコングレス）参加人数										



事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国 必 要 投 入 の 性 能	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国際的な治安対策により、我が国社会の安定と安全に寄与している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国連機関が行う国際的な治安対策やコンгресс開催のための事業であり、民間等が代替することはできない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国際社会の安定のため相応の貢献が求められており、必要な事業である。	
事業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	UNODCが比較優位を有する分野に拠出している。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	定期的な事業実施報告を通じた説明責任を求めている。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業内容に鑑み妥当なものと認められる。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に照らすと他の使途は想定されず、真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
事業 の 有 効 性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	代替手段はない。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みに見合ったものとなっている。	
関 連 事 業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	外務省がプロジェクトの実施費用を負担し、法務省がプロジェクトを管理・運営する専門家の雇用費用を負担している。	
	所管府省名 事業番号 事業名 外務省 0192 国際連合薬物犯罪事務所(UNODC)拠出金(任意拠出金)			
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	UNODCは国際テロ、組織犯罪対策に包括的に取り組む唯一の国際機関であり、我が国の拠出金は、東南アジア諸国の刑事司法分野における法整備支援プロジェクト等を行う専門家の雇用費用として適切に使われている。		
	改善の方向性	プロジェクトの迅速かつ効率的な実施のため、UNODC側から、プロジェクトの進捗状況等に關し、定期的な事業実施報告を求めるこを含め、継続的なフォローアップに努めていく。また、コンгресс成功的ための取組を計画的・効率的に行っていく。		

#### 外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外である。

#### 行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り	引き続き効率的な予算の執行に努められたい
------	----------------------

#### 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	-
------	---

#### 備考

関連する過去のレビュー・シートの事業番号																																								
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-																																			
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	0002																																			
平成30年度	法務省 (0065)				平成29年度 0065																																			
※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。																																								
<b>資金の流れ</b> (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	<pre> graph TD     A["法務省 84百万円"] -- "拠出金事務・個別事業の承認" --&gt; B["A. 国連薬物犯罪事務所(UNODC)ほか1機関 84百万円"]     B -- "事業案の形成・提出 各国UNODC事務所等とともに 承認事業を実施" --&gt; C[""]     style C fill:none,stroke:none     C --- D["①個別事業"]     C --- E["②拠出"]     C --- F["③事業報告"]     style D fill:none,stroke:none     style E fill:none,stroke:none     style F fill:none,stroke:none     style A fill:none,stroke:none     style B fill:none,stroke:none     style C fill:none,stroke:none     style D fill:none,stroke:none     style E fill:none,stroke:none     style F fill:none,stroke:none   </pre>																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">A.国際連合薬物犯罪事務所(UNODC)</th> <th colspan="3">B.</th> </tr> <tr> <th>費目</th> <th>使途</th> <th>金額 (百万円)</th> <th>費目</th> <th>使途</th> <th>金額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>拠出金</td> <td>専門家雇用経費</td> <td>82</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>82</td> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					A.国際連合薬物犯罪事務所(UNODC)			B.			費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	拠出金	専門家雇用経費	82																計		82	計	
A.国際連合薬物犯罪事務所(UNODC)			B.																																					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)																																			
拠出金	専門家雇用経費	82																																						
計		82	計		0																																			

#### 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百 万 円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応募者数)	落 札 率	一 者 応 札・一 者 応 募 又 は 競 争 性 の な い 隨 意 契 約 と な つた 理 由 及 び 改 善 策 (支 出 額 10 億 円 以 上)
1	国際連合薬物犯罪事務所(UNODC)	-	専門家雇用経費	82	その他	-	-	
2	国際連合開発計画(UNDP)	-	事務経費	2	その他	-	-	